



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月13日

上場会社名 竹田印刷株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7875 URL http://www.takeda-prn.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 眞一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営統括本部長 (氏名) 井川 誠 TEL 052-871-6351
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	26,390	5.5	450	△0.0	508	5.4	339	△0.7
29年3月期第3四半期	25,015	△4.5	450	7.8	482	3.6	341	28.4

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 587百万円 (3.6%) 29年3月期第3四半期 566百万円 (116.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	42.12	—
29年3月期第3四半期	42.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	31,255	15,411	48.9	1,899.34
29年3月期	29,946	14,948	49.5	1,842.04

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 15,288百万円 29年3月期 14,827百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
30年3月期	—	7.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	9.3	750	0.7	780	1.1	500	△7.0	62.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 __社（社名）、除外 __社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	8,781,000株	29年3月期	8,781,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	731,846株	29年3月期	731,751株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	8,049,230株	29年3月期3Q	8,049,277株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「(3) 連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な米国・中国経済等に支えられ、引き続き緩やかな回復基調が続き、企業収益は拡大し、株価は上昇基調で、個人消費と設備投資においても改善が見られ、人手不足の状態が継続しております。一方海外に目を向けますと、世界経済の成長率は上昇傾向にあるものの、東アジアにおける政治的緊張の高まりや、今後の米中関係、また欧州でポピュリスト政党の勢いが強まっていることなどの不確定要素により、先行きは引き続き不透明な状況です。

このような状況の中、当社が主力としております国内の印刷事業につきましても、景気回復の恩恵を余り受けることなく、紙媒体の縮小、競争の激化、価格の低迷という、厳しい状況が続きました。

継続的な利益確保のため、当社グループにおきましては、売上の確保、コスト・経費の削減はもちろんのこと、顧客にとっての価値を創出する、または増大させるソリューション、すなわち安易な価格競争に巻き込まれないビジネスモデルの開発や、半導体関連マスク事業の強化に注力してまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は263億90百万円（前年同期比5.5%増）となりました。利益面では、営業利益4億50百万円（前年同期比0.0%減）、経常利益5億8百万円（前年同期比5.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億39百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

セグメント別の状況は、以下のとおりです。

(印刷)

印刷事業では、顧客が必要とするサービス、具体的には、システム構築、データ収集・分析、ロジスティクス、事務局を含むBPO、販促イベント支援などを複合的に組み合わせて、顧客にとっての価値を創出、または増大させる活動に注力致しましたが、第2四半期に引き続き、従来型ビジネスである印刷物の減少や、競争の激化による価格の低下の影響を大きく受けました。

半導体関連マスク事業では、自動車・FA機器・太陽電池・スマートフォン向け等の電子部品の好調により、引き続き、売上・営業利益共好調を維持しました。なお、昨年グループ入りした東京プロセスサービス(株)の業績は、平成29年3月期は、第4四半期から加算されており、当平成30年3月期の第1～第3四半期は、同社の業績が純増分として加算されております。

上記の結果、印刷セグメントの売上高は174億35百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は2億29百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

(物販)

物販事業では、平成28年3月期に税制優遇により発生した機械の特需の反動に見舞われた平成29年3月期からの回復を期して、高付加価値化や品質・環境性能を向上させた商品の提案、自社ブランド機械の販売強化、新規顧客獲得活動などを、精力的に行いました。

上記の結果、物販事業の売上高は98億73百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は2億17百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産の部は、仕掛品ならびに、現金および預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ13億9百万円増加し、312億55百万円となりました。

負債の部は、支払手形および買掛金、ならびに電子記録債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べ8億46百万円増加し、158億44百万円となりました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ4億62百万円増の、154億11百万円となり、自己資本比率は48.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での平成30年3月期の業績予想は、平成29年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,475,926	4,802,708
受取手形及び売掛金	8,884,809	8,355,525
商品及び製品	455,963	576,152
仕掛品	276,449	707,662
原材料及び貯蔵品	231,623	236,081
繰延税金資産	217,790	217,790
その他	534,760	833,522
貸倒引当金	△81,009	△79,070
流動資産合計	14,996,313	15,650,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,473,665	3,318,393
機械装置及び運搬具(純額)	794,639	684,645
土地	6,104,342	6,225,111
リース資産(純額)	717,337	1,009,326
建設仮勘定	—	305,398
その他(純額)	175,992	174,284
有形固定資産合計	11,265,978	11,717,160
無形固定資産		
投資その他の資産	207,068	195,459
投資有価証券	2,406,804	2,721,926
繰延税金資産	447,602	340,218
その他	780,794	769,450
貸倒引当金	△158,119	△138,855
投資その他の資産合計	3,477,081	3,692,740
固定資産合計	14,950,128	15,605,360
資産合計	29,946,442	31,255,733

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,513,330	4,081,896
電子記録債務	2,889,411	3,269,556
短期借入金	840,000	840,000
1年内返済予定の長期借入金	567,942	362,758
リース債務	194,199	227,825
未払法人税等	167,663	61,645
賞与引当金	452,785	230,730
その他の引当金	35,000	18,000
その他	864,920	1,143,422
流動負債合計	9,525,254	10,235,834
固定負債		
長期借入金	1,290,980	1,205,786
リース債務	533,522	797,095
長期未払金	107,023	122,014
退職給付に係る負債	3,297,025	3,230,935
資産除去債務	192,773	196,052
その他	51,319	56,653
固定負債合計	5,472,644	5,608,538
負債合計	14,997,899	15,844,373
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,937,920	1,937,920
資本剰余金	1,793,446	1,793,446
利益剰余金	11,306,178	11,524,534
自己株式	△538,515	△538,584
株主資本合計	14,499,029	14,717,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	731,184	908,886
為替換算調整勘定	14,218	15,953
退職給付に係る調整累計額	△417,331	△354,006
その他の包括利益累計額合計	328,071	570,833
非支配株主持分	121,442	123,209
純資産合計	14,948,543	15,411,360
負債純資産合計	29,946,442	31,255,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	25,015,586	26,390,197
売上原価	20,336,703	21,417,051
売上総利益	4,678,883	4,973,145
割賦販売未実現利益繰入額	533	—
割賦販売未実現利益戻入額	693	362
差引売上総利益	4,679,043	4,973,507
販売費及び一般管理費	4,228,523	4,523,212
営業利益	450,519	450,295
営業外収益		
受取配当金	36,061	46,717
受取賃貸料	14,128	13,124
貸倒引当金戻入額	22,058	6,306
その他	39,347	28,529
営業外収益合計	111,596	94,677
営業外費用		
支払利息	23,429	20,592
子会社株式取得関連費用	34,700	—
その他	21,916	16,122
営業外費用合計	80,046	36,715
経常利益	482,069	508,257
特別利益		
固定資産売却益	12,319	14,016
投資有価証券売却益	75,845	59,647
特別利益合計	88,164	73,664
特別損失		
固定資産処分損	5,613	35,246
投資有価証券評価損	1,198	602
投資有価証券売却損	—	2,744
会員権評価損	6,560	1,333
その他	540	5,555
特別損失合計	13,912	45,482
税金等調整前四半期純利益	556,321	536,439
法人税等	209,622	192,077
四半期純利益	346,699	344,361
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,056	5,267
親会社株主に帰属する四半期純利益	341,642	339,094

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	346,699	344,361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	167,629	177,702
為替換算調整勘定	△15,844	1,734
退職給付に係る調整額	68,308	63,325
その他の包括利益合計	220,093	242,762
四半期包括利益	566,793	587,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	561,736	581,857
非支配株主に係る四半期包括利益	5,056	5,267

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷	物販			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	16,255,897	8,759,688	25,015,586	—	25,015,586
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,123	640,130	645,254	△645,254	—
計	16,261,021	9,399,819	25,660,840	△645,254	25,015,586
セグメント利益	224,304	214,281	438,586	11,933	450,519

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「印刷」セグメントにおいて、東京プロセスサービス株式会社の全株式を取得したことにより、新たに連結の範囲に含めております。これによりのれんが53,664千円発生しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	印刷	物販			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	17,430,497	8,959,699	26,390,197	—	26,390,197
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,107	913,800	918,908	△918,908	—
計	17,435,605	9,873,500	27,309,105	△918,908	26,390,197
セグメント利益	229,218	217,576	446,794	3,500	450,295

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。